

ソフトウェアコマンド

WHY (この技術を採用した理由)

RFIDの市場では、いろいろな用途があり、一部のアプリケーションシナリオでは、読み取り時に物理的なトリガボタンを押さずにリーダーを制御するリモートコマンドが必要です。例えば、ユーザのアプリケーションは、ユーザが操作するための操作インターフェースを有しているか、あるいはリーダーがどこかに固定されており、ユーザはリーダーを遠隔操作する必要があります。したがって、ユーザーがアプリケーションに対して直接リーダー操作を簡単に実行できるようにするメカニズムを提供することが重要です。

HOW (この技術の実現方法)

リモートコントロールの方法は、ASCIIフォーマットで一連のシリアルコマンドを提供することです。すべてのコマンドはBT SPPプロファイルを介してPC / Androidから送信することができます。これらの命令は単純なテキスト文字列で構成されています。これらのコマンドのフォーマットとアーキテクチャを以下に示します。

"CR LF {XX YY} CR LF"



RP901は現在以下の6つの命令をサポートしています。その説明と手順は次のとおりです。

項目	名称	動作	フォーマット
1	読み取り開始	RP901は、タグの読み取りを開始します	CR LF { T G } CR LF 0x0D 0x0A 0x7B 0x54 0x47 0x7D 0x0D 0x0A
2	読み取り停止	RP901は、タグの読み取りを停止します	CR LF { T S } CR LF 0x0D 0x0A 0x7B 0x54 0x53 0x7D 0x0D 0x0A
3	OK (Aloha)	RP901は、文字列 "OK" を返します	CR LF { A L } CR LF 0x0D 0x0A 0x7B 0x41 0x4C 0x7D 0x0D 0x0A
4	ビープ	RP901は、80ミリ秒の短いビープを發します	CR LF { M 1 } CR LF 0x0D 0x0A 0x7B 0x4D 0x31 0x7D 0x0D 0x0A
5	緑LED	RP901は、200ミリ秒間 "緑LED" インジケータを点灯します	CR LF { G L } CR LF 0x0D 0x0A 0x7B 0x47 0x4C 0x7D 0x0D 0x0A
6	バイブレーション	RP901は、200ミリ秒バイブレータをオンにします	CR LF { B Z } CR LF 0x0D 0x0A 0x7B 0x42 0x5A 0x7D 0x0D 0x0A

WHAT (この技術の利点は)

ソフトウェアコマンドセットには、次のような利点があります。

■ 時間

これらの命令はテキスト文字列で構成されているため、アプリケーション開発者はシステム言語の種類やAPIの呼び出し方法を考慮する必要はありません。リーダーを操作するためのコマンド文字列を直接出力することができます。したがって、開発者はソフトウェアコマンドを使用して開発時間を節約できるだけでなく、デバイスのインストールと保守にかかる時間も大幅に節約することができます。

■ 簡便

ユーザーはこれらのソフトウェアコマンドを使用して、リーダーの基本的な操作をリモートで実行することができます。特にユーザが物理的なボタンを使用することが不便な場合、これによりユーザがアプリケーションを容易に完成することが可能になります。

